

EYE サポートニュース

2024年12月号

目次

センターからのお知らせ

年末年始の休館について.....	1
サピエ停止に伴う貸出等の対応について...	1
点字カレンダーさしあげます！.....	3
点字かわら版.....	3
お役立ちミニ情報.....	4

静岡県からのお知らせ

声かけサポーター養成講座募集開始	5
イベント情報	6
「本の玉手箱」	9
点字図書さしあげます！	10
SDカードサービス	11

新刊案内

点字図書	12
デイジー図書	17

発行 静岡県視覚障害者情報支援センター

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1番70号
シズウエル 2階

電話番号	054-253-0228
F A X	054-250-0766
E-M a i l	info@i-center-shizuoka.jp
ホームページ	https://i-center-shizuoka.jp
開館時間	9:00~17:00
休館日	日曜日、第4土曜日、祝日、年末年始

センターからのお知らせ

こんにちは。このところ、急激に寒くなりました。夏から冬へ一っ飛び！天候の急変に体がついていけない感じがしますよね！インフルエンザの季節にもなりましたので、どうぞ、体調管理に気を配りましょう。

12月になると、この1年を振り返ることが多くなりますね。気になりながらも読んでいない本などありませんか？年末年始の休みを利用して一気に片づけてしまうのも、1年の締めくくりとして一つの選択肢かも。

年が明けると、1月19日に菊川市に出前センターでお邪魔します。詳しくは別項目をご覧ください。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

そして2月初旬からサピエが長期停止します。ぜひその間も読書をお楽しみください。そのために、計画的な準備が少し必要です。詳しくは別項目をご覧ください。

■年末年始の休館日について

12月28日(土)から1月5日(日)まで、センターはお休みです。1月4日(土)は臨時休館いたします。新年の開館日は6日(月)からとなります。年末の郵便事情によっては、郵便物がお手元に届くタイミングが予測どおりにならないことも考えられます。図書のリクエストなどは、できるだけお早めにご連絡ください。

■サピエ停止に伴う当センターの貸出等の対応について

●停止期間 2025年2月5日(水)～3月17日(月)

上記期間中、サピエ図書館が、システムメンテナンスにともない全面停止となります。

当センターの図書業務はサピエと連動したシステムを使用しているため、停止期間中、貸出サービスなどに影響が出ます。

利用者の皆様には多大なご迷惑をお掛けしますがご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

センターでは、サピエ停止期間中、以下のように対応いたします。

●デージー雑誌、点字雑誌

可能な範囲で貸出を継続します。全国点字図書館新刊デージー図書目録、全国点字図書館新刊点字図書目録の2月号は休止し、2025年3月14日(金)に3月号を発送します。

●デージー図書

2月5日～3月17日の間、他館からの借受は休止します。センター所蔵の図書は貸出を継続します。

1月29日(水)以降にお手元に届いた図書は貸出期間を1ヶ月に延長します。貸出冊数は10タイトルまでです。

SDカードサービスは引き続きご利用いただけます。パックの一覧(音声版・点字版・Eメール版)を用意しておりますので、ご希望の方はご連絡ください。

これまでにSDカードを利用したことがない方に向けて、貸出用SDカードをご用意しました。この機会にぜひSDカードサービスをお試ください。※貸出用SDカードの数には限りがあります。

SDカード未対応のプレクストークをご使用の方へ、お楽しみデージーCDをお送りします。SDカードサービスのパックから抜粋したデージー図書を数タイトル収録したCDです。お楽しみデージーCDをご希望の場合はお申し込み下さい。

貸出用SDカードとお楽しみデージーCDの申込は2月3日(月)から受付を開始します。発送は2月19日(水)の予定です。

●点字図書

可能な範囲で貸出を継続します。リクエストを受け付けてから貸し出すまでに通常より時間がかかることが予想されます。余裕をもってお申し込み下さい。

期間中、貸出を休止している施設からの借受は予約扱いとなります。その場合は個別にご連絡いたします。

●点字プリンティング・デジータダウンロードサービスは休止します。

●その他、ご不明の点については貸出サービス班へお問い合わせ下さい。

■恒例の「点字カレンダー」さしあげます！お一人2部まで

(公財)日本テレビ小鳩文化事業団が毎年製作・配布している写真と点字付きの卓上カレンダー。2025年のテーマは「風景を感じる」です。それぞれの風景を説明する点字解説文が付きます。ご希望の方は、電話かメールでお申し込みください。準備でき次第の発送となります。

※部数に限りがあるため、お一人2部までの受付といたします。ご了承ください。

■点字かわら版「美味しい！楽しい！静岡情報」配信中！

10月号では県内各地から秋の絶品スイーツをご紹介。11月号は桜えび秋漁が始まったことを受けて桜えびを特集しました。

点字かわら版は、アイニュースでのお知らせのほか、ご希望の方には、点字印刷したもの(3枚)を差し上げます。点字データでご希望の方は、メール添付でお送りいたします。ぜひご利用ください。

お役立ちミニ情報

■前回お知らせしたサイトワールドの様子をご紹介します

会場であるすみだ産業会館サンライズホールはJRまたは東京メトロ「錦糸町駅」の目の前。当日は駅周辺にガイドの方が大勢待機していて会場へと続くエレベーターまで連れて行ってくれました。エレベーターを降りればまた次のガイドさんがついてくれます。一人で行くのは不安だと思っていた方、援助依頼を使って錦糸町駅までたどり着けばサイトワールドを堪能することができそうですよ。

ブースは全部で42ありました。文字情報関連の機器は出前センターなどでもおなじみのものが多かったのですが、外出・移動のための機器としてアシラセやアイナビ、アイコサポート等従来のものから、帽子の形をしていて振動で方位や方向を知らせるもの、電気自動車の音を検知するもの、肩掛け式の歩行安全支援機器など開発中のもも含めて多く紹介されていました。セブン銀行の新型ATMの実物が体験できたり、各種日用品が出ていたりと一つ一つじっくり見て回るのは難しいほど盛沢山でした。

来年度は10月16日(木)～10月18日(土)開催だそうです。ご興味がおありの方、来年はぜひ。※来年度は例年と開催日が違うのでご注意を、とのことです。

静岡県からのお知らせ

■「声かけサポーター」養成講座の一般応募分の募集を開始します！

2024年8月号のEYEサポートニュースの静岡県からのお知らせでご紹介した「声かけサポーター」を覚えていらっしゃいますか？静岡県では駅のホームや階段からの転落事故を未然に防止するために、駅のホームや路上などで障害のある方に対する声かけのコツやタイミングを習得するための「声かけサポーター」の養成をしています。

養成講座は「声かけハンドブック」をもとに、「声かけ」の必要性やコツを、白杖利用当事者や歩行訓練士の方々から学ぶことができます。また、実習では実際に駅のホームを利用するなど実践的な内容となっています。

その講座の今年度の一般応募分の募集を、2024年12月1日(日)から開始します。

今年度は、2025年1月23日(木)に静岡市、2025年1月26日(日)に浜松市、2025年2月5日(水)に浜松市で実施予定で、講座時間は2時間の予定です。

静岡県内在住の高校生以上の方ならどなたでも応募できますので、是非ご参加下さい。

なお、お1人での申し込みですと面識のない方とペアを組んでいただくこととなりますので、応募は2人1組でのお申し込みを推奨しております。

講座修了後は修了証として素敵な「オリジナル缶バッジ」を差し上げますので、定員で締め切りとなる前に、是非お早めにお申し込み下さい。

応募方法や詳細は「声かけサポーター」で検索し、専用HP (<https://www.koekake-shizuoka.jp/>)からご確認ください。

イベント情報

■1月19日(日)「出前センターin菊川」のご案内

センターが県内各所を訪れる「出前センター」。今年度第2回目は、遠州と信州を結ぶ「塩の道」として古くから南北交通の要所として栄え、市の東部には明治初頭の大規模開拓による日本一の大茶園が広がるお茶の街、菊川市で開催します。菊川市内や近隣市町の皆様、ぜひお誘いあわせのうえ、ご来場ください。

日時:1月19日(日) 10時~16時※開場9時45分
会場:菊川市役所庁舎東館 プラザきくる 2階多目的エリア
(菊川市堀之内61番地、電話0537-35-0925)

●日程と内容

開場:9時45分

全体会:10時~10時30分/13時15分~13時45分

体験・相談会:10時30分~12時30分/13時45分~16時00分
(12時30分~13時15分は昼食休憩となります)

※予約なしでご自由にお越しください。ご質問・ご相談などはお近くのスタッフにお気軽にお声がけください。

※全体会では、センターの事業紹介や出展業者の一押し商品などをご紹介します。

●体験・相談内容

拡大読書器、音声読書器、音声図書再生機、点字ディスプレイ、アイフォン、遮光眼鏡、便利グッズ、3D模型、ほか
日常生活での困りごと、外出や歩行、補装具・日常生活用具申請、読書や情報アクセスなど

●協力

(有)エクストラ、(株)システムギアビジョン、鶴見大学、(株)パリミキ掛川店、(NPO)六星ウイズ蛄塚用具部、ほか

■土曜サロンにお越しく下さい！

〈土曜日の午後はサロンのひととき。第1土曜はITチャレンジサロン。パソコンやアイフォーン、読書器などに関連したスキルアップをどうぞ。第3土曜はいーらサロン。体験や交流をメインにお楽しみください。原則Zoomミーティングでも配信しますので、そちらもご利用ください。〉

●申し込み・問合せ先:

電話(9時から17時):054-253-0228

メール:info@i-center-shizuoka.jp

※Zoomミーティング情報はメール配信『アイニュース』の署名欄でお知らせしています。

※来場参加の方は、事前にお申し込みください。

※いーらサロンに参加する方で静岡駅・新静岡駅・市民文化会館入り口(バス停)からのガイドをご希望の方は、ご遠慮なくお申し出ください。

●12月7日「今年の疑問は今年のうちに！」

～大掃除とITのモヤモヤは年内にすっきり！が鉄則～

今年もたくさんの支援機器やアプリ、使い方などをご紹介してきましたが、便利に活用し始めたものはございますでしょうか？ これまでちょっと不便だったこと、困っていたことが少しでも解消されていたら幸いです。

そこで今回はテーマを決めず、新たに出てきた疑問やモヤモヤとすることにお応えする時間にしたいと思います。聞いてみたいこと、皆さんの便利な活用術などを色々とお聞かせください。

日時:12月7日(土) 13時30分～15時30分

会場:センター内およびZoomミーティング配信

※会場参加の場合は、事前にお申し込みください。

●12月21日「映画鑑賞アプリ体験会」

～体験する映画は、ひ・み・つ…～

UDCastやハロームービーという言葉聞いたことがある方も多いのではないのでしょうか。これらは視覚障害のある方が音声ガイドを利用して映画を楽しむためのアプリです(字幕対応もあります)。当日はDVDを使って、実際に皆さんのスマートフォンで体験してみたいと思います。アプリのインストールから始めますので初めての方大歓迎。ここで練習しておけば実際の映画館でも大迫力の映画が楽しめますよ。当日はスマートフォンをお使いでない方も音声ガイドをお楽しみいただけます。ぜひご参加ください。

日時:12月21日(土)13時15分～15時45分(予定)

会場:シズウエル 5階 集会室

持ち物:スマートフォン(使っている方)

申込締切:12月19日(木)

※ご自身のスマートフォンで参加する方はイヤホンをご持参ください。

※Zoomミーティングの配信はありません。

●今後の予定 ※1月のサロンはお休みです。

1月4日(土):臨時休館

2月1日:ITサロン、スマホ関連のトピック

2月15日:いーらサロン、点字で遊ぼう(仮称)

●サロン報告

10月のサロンは、会場15名、Zoom18名とたくさんの方にご参加いただきました。差別解消法のポイントの一つが「建設的対話」であり、一方的な要求ではなく、互いに相手の状況を理解し話し合うことが重要という点が強調されていました。

11月の「大道芸サロン」は、参加者は6名とやや寂しい感がありましたが、ラジオ実況とともに「八百屋お七」を題材とした「めりこ」のポールダンスを楽しみました。後半は静岡市歴史博物館で駕籠や天秤棒の体験などを行いました。

本の玉手箱

■2025年大河ドラマ「べらぼう ～蔦重栄華乃夢噺～」の主演は、蔦屋重三郎です。江戸中期、貸本屋から身を興して、“江戸の出版王”へと成り上がっていく蔦屋重三郎に関連する図書をご紹介します。

●『稀代の本屋 蔦屋重三郎』 増田晶文著 2016年
草思社 (点字・デージー)

山東京伝、歌麿、写楽、十返舎一九…。きらめく才能を見つけ育てて世に送り出し、江戸を、日本を変えた。稀代の本屋・蔦屋重三郎の波乱に満ちた生涯を描く時代小説。

●『蔦屋でござる』 井川香四郎著 2012年 二見書房
(点字・デージー)

老中松平定信の暗い時代、下々を苦しめる奴は許せぬと反骨の出版人「蔦重」こと蔦屋重三郎が、喜多川歌麿、山東京伝、滝沢馬琴ら「狂歌連」の仲間とともに頑固なまでの正義を貫く！

●『写楽』 皆川博子著 1994年 角川書店 (点字・デージー)

江戸の町に忽然と現れた謎の浮世絵師・写楽。天才絵師・歌麿の最大のライバルといわれ、名作を次々と世に出すとたった十ヶ月で消えてしまった。写楽とは何者だったのか。

●『喜多川歌麿女絵草紙』 藤沢周平著 1982年 文藝春秋
(点字・デージー)

浮世絵師喜多川歌麿。好色漢の代名詞として伝えられるが、この絵師ほどその生涯その素性が謎にみちた存在はない。

●『一九戯作旅』 野口卓著 2017年 講談社
(点字・デージー)

蔦重に励まされ、写楽に嫉妬し、京伝を羨んだ。若き十返舎一九が「東海道中膝栗毛」で流行作家となるまでを描く。

■点字図書さしあげます！

バインダーなしの簡易製本。先着順で受付けます。ご希望の方は貸出サービス班まで。

『憎悪と愛の哲学』 大沢真幸著 全3巻

『先生、モモンガがお尻でフクロウを脅しています？』
小林朋道著 全2巻

『あんこの本 何度でも食べたい。』 姜尚美著 全4巻

『盲人のための漢字学習事典』 志村洋著 全18巻

『クレオパトラの葬列』 赤川次郎著 全4巻

『名探偵、初心者ですが 舞田ひとみの推理ノート』
歌野晶午著 全5巻

『あおなり道場始末』 葉室麟著 全3巻

『風かおる』 葉室麟著 全4巻

『九州新幹線マイナス1』 西村京太郎著 全3巻

『クリスマスの小屋』 ルース・ソーヤー再話 上條由美子訳 全1巻

■点字雑誌のご紹介

センターで貸し出している点字雑誌をご紹介します。貸出期間は図書と同じく届いてから2週間です。ぜひご利用ください。

『東洋療法』 全日本鍼灸マッサージ師会が発行する情報誌。中医学コラムや研修の報告、イベント情報などを掲載。(月刊)

『点字ジャーナル』 視覚障害者にとっての課題や話題、あるいは問題点をえぐり、追求する、をコンセプトに、視覚障害者の世界の新しい点字メディアを目指す総合誌。(月刊)

■SDカードサービス

テーマ別に選書したデイジー図書を、SDカードへコピーして提供いたします。SDカードはご自身で用意するか、センターで代行購入することができます。また、USBメモリでも利用可能です。

一部、SDカードを直接差し込むことのできないプレクストークがあります。よく確認の上、ご購入下さい。詳細は貸出サービス班へお問い合わせ下さい。

《テーマ別パック》

静岡新刊図書パック(2024年12月号)	9タイトル
----------------------	-------

今回のアイサポートニュースで紹介したセンター製作の新刊デイジー図書を全て収録。

蔦屋重三郎に関連する図書パック	20タイトル
-----------------	--------

江戸の出版王と言われた蔦屋重三郎のほか、東洲斎写楽、十返舎一九、喜多川歌麿、曲亭馬琴など関連する図書を収録。

綾小路きみまろパック	20タイトル
------------	--------

「中高年のアイドル」と言われる綾小路きみまろの毒舌漫談のほかに、夫婦川柳など爆笑かつ感動の「毒舌トーク」が特盛りです。

船旅がテーマの図書パック	20タイトル
--------------	--------

クルーズ船が舞台のミステリや群像劇などの小説を中心に、航海記やエッセイなどをまとめたパック。

脳トレパック	20タイトル
--------	--------

最近少しもの忘れが気になる…。そんな時にお勧めの脳トレ本。医師が実践する認知症予防も収録。

新 刊 案 内

2024年10月から2024年11月までに受入れた当センター所蔵の点字図書とデージー図書を紹介します。当センター製作以外の図書には、説明文の末尾に(委託図書)(寄贈図書)などの記載があります。

《点字図書》

タイトル	巻数	著者名
出版年	出版者	分類番号

<哲学>

つか <small>じゅきょう</small> 使える儒教	2	やすだ <small>のぼる</small> 安田 登 著
2023年	<small>えぬえいちけーしゅつぱん</small> NHK出版	124.1

「論語」を中心とした儒教の考え方を使い、自分を変えていく方法を紹介する。楽に生きる術が分かる儒教の入門書。

<歴史・地理>

わす <small>にほんじん</small> <small>せいしん</small> すぐ忘れる日本人の精神 <small>こうぞうし</small> 構造史	5	しんたに <small>たかのり</small> 新谷 尚紀 著
2024年	<small>しゃ</small> さくら舎	210.04

責任追及をせず問題点をふわっとさせたまま何となく進み、やがて忘れる。そんな日本人の思考や行動の傾向性は、どう育まれたのか。

こんだあきこのわたしの <small>へんあいせいきたび</small> 偏愛遺跡旅	3	こんだ <small>あきこ</small> 譽田 亜紀子 著
2024年	<small>しんせんしゃ</small> 新泉社	210.2

土偶と考古学をこよなく愛する著者が、独自の目線で遺跡をめぐる。愛とユーモアと妄想たっぷりに遺跡の魅力を綴ったエッセイ集。

民主化への道はどう開かれたか <small>みんしゅか みち ひら</small>	2	三谷博 著 <small>みたに ひろし</small>
2024年	清水書院 <small>しみずしょいん</small>	210.58

日本の代表民主制はどのように成立したのか。明治維新前から立憲政治の始まった時代までを取り上げて、その歴史的な源を探る。

北海道犬旅サバイバル <small>ほっかいどういぬたび</small>	4	服部文祥 著 <small>はっとり ぶんしょう</small>
2023年	みすず書房 <small>しよぼう</small>	291.1

サバイバル登山家が、愛犬を連れて、宗谷岬から襟裳岬まで、晩秋の北海道南北分水嶺700kmをまる2か月かけて歩き通した旅の記録。

イラク水滸伝 <small>すいこでん</small>	8	高野秀行 著 <small>たかの ひでゆき</small>
2023年	文藝春秋 <small>ぶんげいしゅんじゅう</small>	292.73

権力に抗うアウトローや迫害されたマイノリティが逃げ込むイラクの巨大湿地帯〈アフワール〉。現代最後のカオスに挑むノンフィクション。

<社会科学>

ルポ海外出稼ぎ <small>かいがいでかせ</small>	3	NHK「クローズアップ現代」取材班 著 <small>えぬえいちけー げんだい しゅざいはん</small>
2024年	大和書房 <small>やまとしよぼう</small>	366.8

日本に見切りをつけ海外へ出稼ぎに行く若者や外国人労働者が増えている。彼らの本音に迫り、日本の課題を探る。

<自然科学>

さい 70歳からの人生を豊かにす る筋トレ	じんせい ゆた 2	おかだ たかし 岡田 隆 著
2023年	たかはしよてん 高橋書店	493.185

何歳からでも筋肉はつけられる。70代に向けて、健康寿命を延ばすための筋肉の知識とトレーニングを紹介する。

<技術>

しんかんせんぜんし 新幹線全史	6	たけうち まさひろ 竹内 正浩 著
2023年	えぬえいちけーしゅつぱん NHK出版	516.71

誕生から拡大期を経て、現代もつづく新幹線の歴史を、「政治」と「地形」に着目して路線ごとに書き尽くす。

さいがい 災害とトイレ	4	にほん きょうかい 日本トイレ協会 編
2022年	かしわしよぼう 柏書房	518.51

災害大国・日本に暮らすうえで知っておきたい緊急時のトイレ問題について、経験から得られた生きた教訓をあますところなく紹介する。

ちきゅうぎょうしょうにん 地球行商人	9	くろき りょう 黒木 亮 著
2023年	ちゅうおうこうろんしゃ 中央公論社	588.067

味の素社内で「グリーンベレー」の異名をとる海外市場開拓チームは、いかにして世界の食品市場を攻略してきたのか。

さあ、なに食べよう？ 70代の台所	2	あだち ひろこ 足立 洋子 著
2024年	ふそうしゃ 扶桑社	590.4

食事、家事、暮らしの知恵や工夫、日々のお楽しみ、悩みや不安など、72歳でひとり暮らしの著者が自身の生活をありのままに綴る。

<日本文学 小説>

しゅうまつ 終末のARIA	7	つじ ひろゆき 辻 寛之 著
2023年	かどかわ KADOKAWA	913.6

2021年9月11日、国会議事堂に無人機が墜落。その後サイバー攻撃が立て続けに発生、電力供給がストップして東京は大混乱に陥る。

<日本文学 歴史・時代小説>

さいじょ ばくまつ 妻女たちの幕末	9	ほだか けんいち 穂高 健一 著
2023年	なんなんしゃ 南々社	913.6

開国か、尊王攘夷か。未曾有の困難を老中と大奥の両輪で乗り越えていく。将軍・家慶付きの才女・姉小路を主人公にした歴史小説。

<日本文学 推理小説>

あ みさき なぞ 或るスペイン岬の謎	8	つかとう はじめ 柄刀 一 著
2023年	こうぶんしゃ 光文社	913.6

心臓移植経験者の南と執刀医の娘エリザベスは、旅の先々で不可能犯罪に巻き込まれる。

<日本文学 ルポルタージュ>

ひだり さよくきしゃ 左がきかない「左翼記者」	3	えむら じゅんいちろう 恵村 順一郎 著
2023年	しょうがくかん 小学館	916

朝日新聞の論説副主幹を務めた著者が、パーキンソン病と闘いながらジャーナリズムを追い求めて駆け抜けた日々を綴る。

<外国文学>

じんるい 人類の深奥に秘められた きおく 記憶	9	モアメド・ムブガル・ サール 著 のざき かん 野崎 歓 訳
2023年	しゅうえいしゃ 集英社	953.7

1938年に1冊の本でパリの文壇の話題をさらい、剽窃のかどで消えてしまったセネガル人作家エリマン。彼は一体何者だったのか。

<自然科学 児童向>

ウイルスって何だろう	1	あおの ゆり 青野 由利 著
2022年	ちくましょぼう 筑摩書房	J491.77

ウイルスと人類の闘いやウイルス感染症が社会に与えてきた影響の歴史を通して、その正体に迫る。(委託図書)

<日本文学 児童向>

サーファーガール	2	あそう 麻生 かつこ 著
2024年	こみねしよてん 小峰書店	J913.6

サーフィンの楽しさを知った小学5年生のひなた。母親に猛反対されるがこっそりとサーフィンの練習を続け、地元の大会に出場する。

ちよっとこわいメモ	1	きたの ゆうさく 北野 勇作 著
2023年	ふくいんかんしよてん 福音館書店	J913.6

青いぬいぐるみのクマは、黒いガラスの目で今もぼくを見ている。ちよっと怖くて、不思議で面白い、4つのお話。(委託図書)

《デージー図書》

タイトル	時間	著者名
出版年	出版社	分類番号

<社会科学>

じゅうぶん ^{ゆた} 豊か ^{まず} で、 貧しい しゃかい 社会	15:24	ハート・ステルスキー 他著 むらい あきこ 村井 章子 訳
2022年	ちくましょぼう 筑摩書房	331

お金は何のためにあるのか、よい暮らしとはどのようなものか。ケインズ研究の世界的権威が先人の知恵を探りつつ誠実に議論する。

<芸術・スポーツ>

どうよう ^{こころ} 童謡は心のふるさと	7:13	かわだ まさこ 川田 正子 著
2001年	とうきょうしんぶんしゅつぱん 東京新聞出版	767.7

「みかんの花咲く丘」「里の秋」など、心温まる名曲を歌い続け、歌手生活60周年を迎えた著者が初めて綴る自伝的エッセイ。

いちばんやさしいキャンプ にゅうもん 入門	4:15	はせべ まさかず 長谷部 雅一 監修
2020年	しんせいしゅつぱんしゃ 新星出版社	786.3

もっとも簡単なキャンプのはじめ方から、自分の道具でテント泊ができるようになるまでのステップをわかりやすく丁寧に紹介する。

<日本文学 小説>

しおかぜ 潮風テーブル	6:24	きたじま たかし 喜多嶋 隆 著
2023年	かどかわ KADOKAWA	913.6

葉山の海辺にある料理店を舞台に、素朴で実直な海果を取り巻く人間模様を描く。潮風が吹き抜ける感動の物語。

ラウリ・クースクを探して	6:00	宮内 悠介 著
2023年	朝日新聞出版	913.6

エストニア生まれのラウリ・クースクは才能を活かし、ソ連で活躍することを目指す。歴史に翻弄された普通の人々の姿を描いた物語。

<日本文学 歴史・時代小説>

白鷺烏近なんぎ解決帖	7:23	田中 啓文 著
2023年	光文社	913.6

白鷺烏近はある事情から淀屋橋のたもとの屋形船で暮らしていた。客が持ち込む無理難題を烏近が知恵で解決する、人情事件帖。

椿平九郎留守居秘録(7)	6:26	早見 俊 著
2023年	二見書房	913.6

平九郎は藩札について指南を求める今市藩の若き勘定方・竹本弥次郎に好感を抱くが、その2カ月後、竹本が切腹したとの知らせが届く。

<日本文学 ルポルタージュ>

左がきかない「左翼記者」	5:36	恵村 順一郎 著
2023年	小学館	916

朝日新聞の論説副主幹を務めた著者が、パーキンソン病と闘いながらジャーナリズムを追い求めて駆け抜けた日々を綴る。

<外国文学>

あなた <small>ふ</small> 貴方が触れた <small>ゆめ</small> 夢	13:48	キャンディス・キャンプ 著 ことは <small>こと</small> 琴葉 かいら 訳
2018年	ハーパーコリンズ・ジャパン	933.7

「自分を探してほしい」という、記憶喪失の女性。手がかりはわずかな所持品と、そこに刻まれたサブリナという名前だけだった。

《マルチメディアデージー図書》

<社会科学 児童向>

せかいの「ありがとう」	1:14	こが ようこ 文 しもだ <small>まさかつ</small> 下田 昌克 絵
2023年	<small>どうしんしゃ</small> 童心社	J384.5

「ありがとう」って、世界のどこで聞いてもうれしい。あいさつから始まる、世界の子どもたちのくらしと文化をカラフルな絵で描く。(委託図書)

<技術 児童向>

みそしるをつくる	0:26	<small>たかやま</small> 高山 なおみ 文 <small>ながの</small> よういち 長野 陽一 写真
2020年	<small>しんしゃ</small> ブロンズ新社	J596.21

料理家・高山なおみが子供達へ贈る、みそしるの写真絵本。(委託図書)

<日本文学 児童向>

<small>たいへいき</small> 太平記 わたしの <small>こてん</small> 古典—これ だけは <small>よ</small> 読みたい—	6:20	<small>よしざわ</small> かずお 吉沢 和夫 文 <small>とうこうじ</small> けい 東光寺 啓 絵
2009年	<small>どうしんしゃ</small> 童心社	J913.435

雄大な英雄叙事詩「太平記」。日本の代表的な古典作品を、子どもにもわかるよう現代の言葉で生き生きと再現する。(委託図書)